



発行
東京都

目次

81

告示

○東京都統計調査条例による統計調査の名称等……
……（福祉局総務部総務課）……一

告示

●東京都告示第九百四十号

東京都統計調査条例（昭和三十二年東京都条例第十五号）第三条の規定により、統計調査の名称等を次のとおり告示する。

令和七年九月二十五日

東京都知事 小 池 百合子

一 統計調査の名称

令和七年度東京都福祉保健基礎調査（都指定統計調査第四号）

二 目的

東京都内における高齢者の生活実態を明らかにし、高齢者福祉施策推進のための基礎資料を得ることを目的とする。

三 調査事項

(一) 基本事項

(二) 健康

(三) 医療

(四) 介護サービス・介護予防など

(五) 認知症

(六) 住まい

(七) 日常生活におけるデジタルの利用

(八) コミュニケーション

(九) 生きがい

(十) 孤独感

(十一) 心配ごとや悩みごと

(十二) 社会参加

(十三) 就労

(十四) 経済状況

(十五) 災害関係

(十六) 行政への要望

四 調査の対象範囲

東京都内に居住する調査基準日現在六十五歳以上の在宅の高齢者を対象とし、住民基本台帳から無作為に抽出した六千人を客体とする。

五 実施方法

郵送・インターネットによる自計式とする。

六 調査時期

令和七年十月十五日から同年十一月十四日まで

七 調査基準日

令和七年十月十五日

八 調査票

調査票は、次の東京都福祉保健基礎調査票とする。

秘

総務省 届出 済
東京都指定統計調査第4号

この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

調査番号				No

れいわ ねんどとうきょうとふくしほけん き そちようさ
令和7年度東京都福祉保健基礎調査

調査票

－高齢者の生活実態－

<調査期間>

令和7年10月15日（水曜日）～11月14日（金曜日）

※ 郵送回答の方は、締切当日（令和7年11月14日（金曜日））までに、投函してください。

<調査実施主体>東京都（担当部署：福祉局 総務部 総務課 統計調査担当）
<調査期間中のお問合せ先>

※ 本調査は、東京都が、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しています。

受託会社名：株式会社サーベイリサーチセンター

電話 0120-965-812

メール fukushi2025@surece.co.jp

電話受付時間：平日の午前9時から午後6時まで



この調査票の回答方法

1 ご回答いただく方

○ できる限り、ご本人がご記入ください。

○ ご本人が文章を読むことや書くことが難しい場合は、大変お手数ですが、ご家族や介護されている方などが読み上げたり、代筆していただくなど、ご協力いただければ幸いです。

2 回答方法

○ 令和7年（2025年）10月15日時点の状況をご回答ください。

○ 黒のボールペンで記入してください。

○ 黒の鉛筆または青のボールペンでもかまいません。

○ 問：特に断りがない限り、全ての方がお答えください。

○ 問：問で特定の回答をした方のみ、矢印等に従って回答してください。

○ 「その他」を選んだ場合は、その具体的な内容を【 】内に記入してください。

○ 記入欄に入りきらない場合は、欄外に記入してください。

○ 以下のとおり、太枠内のあてはまる番号に○をつけて回答してください。

例1：あなたの性別を教えてください。

1 男
2 女
3 その他

番号の背景が白い場合は、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

例2：同居している方を教えてください。

1 配偶者
2 子供
3 兄弟姉妹

番号の背景に色がついている場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

例3：悩みごとはありますか？

1 病気	1 病気
2 仕事	2 仕事
3 人間関係	3 人間関係
4 ない	4 ない

白と色つきの両方の背景がある場合は、どちらか一方に○をつけてください。
白を選んだ場合は、○は1つだけ、色つきを選んだ場合は、あてはまるもの全てに○をつけてください。

基本事項（1／3）

〔回答者〕

問1 この調査票を回答される方は、どなたですか。（〇は1つだけ）

対象者本人	代理の方（対象者本人が回答できない場合のみ）	
（ご本人に意思を確認しながら代筆いただいた場合含む。）	ご家族・ご親族	その他
1	2	3

〔本人の状況〕

問2 あなたの性別を教えてください。（〇は1つだけ）

1	男
2	女
3	その他

問3 あなたの年齢は何歳ですか（令和7年（2025年）10月15日現在）。

	歳
--	---

問4 あなたは、配偶者がいますか。（〇は1つだけ）

※ 事実婚や内縁関係等の方も、配偶者を含めます。

1	配偶者あり
2	未婚
3	死別
4	離別

問5 あなたには現在、お子さんがいますか。（〇は1つだけ）

いる場合は、人数を教えてください。
※ 別居しているお子さんも含めます。

1	いる	→		人
2	いない			

基本事項（2／3）

問6 あなたは、家族・親族等の介護（世話・見守りなどを含む。）をしていますか。（〇は1つだけ）

※ 同居・別居、時間の長短は問いません。

1	している
2	していない

問6-1 その方はどなたですか。（〇はいくつでも）

1	親
2	配偶者の親
3	配偶者
4	子供
5	その他の親族
6	親族以外の親しい人

問7 同居している方はいますか。（〇は1つだけ）

※ 記入の対象となる方は、調査基準日（令和7年（2025年）10月15日）現在、住居と生計を共にする方（世帯員）です（一時的に不在の方も含みます。）。

1	いない（ひとり暮らし）
2	いる

問8（4ページ）へ

問7-1（次のページ）へ

基本事項 (3 / 3)

問7-1 《「問7」で「2」（同居している方がいる）を選んだ方にお聞きます。》

同居している方は誰ですか。

	(1) あなた（調査対象者本人） から見た続柄	(2) その方の年齢	(3) その方の 仕事の有無
	以下の1～7のうちから 1つだけ○をしてください。	令和7年 (2025年) 10月15日 現在の年齢を 記入してください。	1・2の いずれかに○ をしてください。 い。 1 している 2 していない
同居家族 1人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 2人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 3人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 4人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 5人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 6人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2
同居家族 7人目	1・2・3・4・5・6・7	歳	1・2

《記入例》

本人、配偶者（72歳、無職）、息子（37歳、会社員、配偶者なし）の3人暮らしの

場合

同居家族1人目	1・ ② ・3・4・5・6・7	72 歳	1・ ②
同居家族2人目	1・2・ ③ ・4・5・6・7	37 歳	① ・2

健康 (1/3)

あなたは、食事の用意を主にどのようにしていますか。(〇は1つだけ)

1	自分が調理
2	配偶者が調理
3	子供や他の家族、親族が調理
4	配食サービスなどの利用
5	スーパー・コンビニなどで購入
6	外食
7	その他【 】

問9 あなたは、誰かと一緒に食事をする機会がどれくらいありますか。
(〇は1つだけ)

1	毎日ある
2	週に何度かある
3	月に何度かある
4	年に何度かある
5	ほとんどない
	ある

問10
あなたは、普段の食事で主食、主菜、副菜をそろえた食事をしていますか。
(〇は1つだけ)

1	3食ともそろえている	主食 主菜 副菜を そろえている
2	1日2食はそろえている	
3	1日1食はそろえている	
4	特に気にしていない	

※ 主食：ご飯、パン、麺類など

主菜：肉、魚、卵、豆腐などの大豆製品を使ったおかず

副菜：野菜を使ったおかず

※ 栄養のバランスがとれた食事となっていれば、品数は問いません。

例えば、主食・主菜・副菜が別皿になっている定食パターンだけでなく、主食・主菜・副菜が一緒になった丼ものなども、「そろえた食事」とします。

健康（2／3）

問1 1 あなたはご自分の健康状態をどのように感じていますか。（○は1つだけ）

1	よい
2	まあよい
3	ふつう
4	あまりよくない
5	よくない

問1 2 あなたのお体の状態について、現在の状況に最も近いものに○をつけてください。（○は①から⑨までそれぞれ1つずつ）

	日常生活に 支障はない	日常生活に ほとんど支障 はない	日常生活に 多少支障 がある	日常生活に 支障がある
① 耳の聞こえ方※	1	2	3	4
② 目の見え方※	1	2	3	4
③ 意思の伝達	1	2	3	4

※ 普段、補聴器やメガネを使用している方は、使用した状態でお答えください。

問1 3

あなたの日常生活の動作について、現在の状況に最も近いものに○をつけてください。（○は①から⑨までそれぞれ1つずつ）

※ 自分でできるが、していない場合は「できる」と考えて○をつけてください。

日常生活動作	ひとりで全部 できる	時間をかければ ひとりでできる	一部介助 が必要	全面的な介助 が必要
① 歩くこと ※ 1	1	2	3	4
② 食べること	1	2	3	4
③ 衣服の着替え	1	2	3	4
④ 入浴	1	2	3	4
⑤ 排せつ	1	2	3	4
⑥ 家事一般 ※ 2	1	2	3	4
⑦ 金銭の管理	1	2	3	4
⑧ 薬の管理 ※ 3	1	2	3	4
⑨ 電話の利用	1	2	3	4

※ 1 普段、杖や車椅子などを使用している場合は、それらを使用した状態でお答えください。
※ 2 家事一般とは、食事の用意、掃除、洗濯などのことを指します。
※ 3 決められた回数・量の薬を、正しい時間に飲むことができることを指します。

健康（3／3）

問1 4 あなたの日常生活の状況について、左側の4つの区分からいずれかを選んで、右側の選択肢1～8のうち、最もよくあてはまるものに○をつけてください。

（選択肢1～8のうち、○は1つだけ）

※ 各項目について、日常生活でしていても、自分でできる場合は、「できる」と考えてください。

日常生活のことはほぼ自分で でき、ひとりで外出できる	公共交通機関を利用して ひとりで外出できる	1
	隣近所へなら ひとりで外出できる	2
	介助によりしばしば外出し、 日中はほとんどベッドから 離れて生活する	3
	外出の頻度が少なく、 日中も寝たり起きたりの 生活をしている	4
屋内での生活はほぼ自分で できるが、外出するには 介助が必要である	自分で車椅子などに座り、 食事・排せつは介助が必要で あるが、ベッドから離れて 行うことができる	5
	介助により車椅子などに座り、 食事・排せつは介助が必要で ある	6
	食事、着替え、排せつの全てで 全面的な介助が必要であり、 一日中ベッドの上で過ごす	7
	自力で寝返りをうてない	8

医療（1／4）

問15

あなたは、現在、何らかのけがや病気にかかっていますか。
(〇はいくつでも)

内分泌・代謝・自律神経障害	1 糖尿病	歯	25 歯・口の病気（むし歯や歯周病を含む。）
	2 肥満症	皮膚	26 アトピー性皮膚炎
	3 脂質異常症（高コレステロール血症等）		27 その他の皮膚の病気
	4 甲状腺の病気		28 痛風
	5 うつ病やその他のこころの病気	筋骨格系	29 関節リウマチ
	6 認知症		30 関節症
	7 パーキンソン病		31 肩こり症
精神・神経	8 その他の神経の病気（神経痛・麻痺等）		32 腰痛症
			33 骨粗しょう症
			34 腎臓の病気
眼・耳	9 眼の病気	尿生殖器系	35 腎臓の病気 （閉経期または閉経後障害（更年期障害等））
	10 耳の病気		36 骨折
	11 高血圧症		37 骨折
循環器系	12 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	損傷	38 骨折以外のけが・やけど
	13 狭心症・心筋梗塞		39 貧血・血液の病気
	14 その他の循環器系の病気	その他	40 悪性新生物（がん）
呼吸器系	15 上気道炎（かぜ）		41 その他
	16 アレルギー性鼻炎		42 不明
	17 慢性閉塞性肺疾患（COPD）		
	18 喘息		
	19 花粉症		
	20 肺炎		
	21 その他の呼吸器系の病気		
消化器系	22 胃・十二指腸の病気		
	23 肝臓・胆のうの病気		
	24 その他の消化器系の病気		

43 特になし

問16 (次のページ)へ

医療（2／4）

問15-1

《「問15」で1～42（何らかのけがや病気にかかっている）を
選んだ方にお聞きします。》

あなたは、現在、何らかのけがや病気のために通院していますか。
(〇は1つだけ)

※ 通院と往診（訪問診療）の両方を利用している場合は、より頻度の高い方
をお答えください。

1 通院している
2 往診（訪問診療）してもらっている
3 通院・往診（訪問診療）両方とも利用していない

問16

あなたは現在、（1）かかりつけ医と（2）かかりつけ歯科医はいますか。
(〇はそれぞれ1つだけ)

(1) かかりつけ医	(2) かかりつけ歯科医
1 いる	1 いる
2 いない	2 いない

※ かかりつけ医とは

病気や健康のことについて気軽に相談したり、診察を受けにいけるお医者さんや
本人が「あの先生がかかりつけのお医者さん」と決めている人をいいます。

※ かかりつけ歯科医とは

歯の治療や義歯の調整だけでなく、むし歯や歯周病の予防や早期発見のために、
定期的な歯科健診やケアを受けることのできる、歯の健康について気軽に相談
できる歯医者さんのことです。

問17

あなたは、健康の維持増進のためにどのようなことを心がけていますか。
(〇はいくつでも)

1 食生活に気をつける
2 休養や睡眠を十分とる
3 ストレスをためない
4 規則正しい生活を送る
5 散歩やスポーツをする
6 できるだけ外出をする
7 地域の活動に参加する
8 定期的に健康診断を受ける
9 お酒を飲み過ぎない
10 タバコを吸わない
11 その他【 】
12 特に心がけていない

医療（3／4）

問18

あなたは、末期のがんや重い病気により、体調が回復しないで自分の死が近いと感じた場合、どのような医療を受けたいですか。
また、(1)で「1」か「2」を選んだ方は、(2)で医療を受けたい場所についてもお答えください。(○は(1)、(2)それぞれ1つずつ)

(1) 受けたい医療の内容	(2) 医療を受けたい場所
1 人工呼吸器を使用するなど、延命のための医療を受けたい	1 病院などの医療機関
2 延命のための医療を受けずに、苦痛を取り除く程度の医療を受けたい	2 現在生活している場 (自宅や介護施設など)
3 特に希望はない	3 その他
4 どうしたらよいかわからない	【 】

問19

あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つだけ)

1 自宅
2 子供など親族の家
3 ホスピス（医療機関の緩和ケア病棟）
4 上記3（ホスピス（医療機関の緩和ケア病棟））以外の医療機関
5 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）
6 介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホームなど）
7 その他【 】
8 特に希望はない
9 わからない

問20

あなたは、「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」または「人生会議」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

1 知っている
2 中身は知らないが、言葉は聞いたことがある
3 知らない

※ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や大切な人、医療・介護ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組をいいます。「人生会議」の愛称で呼ばれることもあります。

医療（4／4）

問21

あなたは、ご自身の人生の最終段階で受けたい医療について、ご家族や大切な人、医療・介護関係者等と話し合っていますか。(○は1つだけ)

話し合っています	
1 詳しく話し合っている	2 一応話し合っている
3 話し合ったことはないが、今後話し合いたい	4 話し合ったことはなく、今後も話し合いたくない

問21-1

誰と、何について話し合いましたか。(○はいくつでも)
※ 「問21」で「3」を選んだ方は、今後の意向をお答えください。

(1) 話し合った相手（話し合いたい相手）	(2) 話し合った内容（話し合いたい内容）
1 家族・親族	1 自分の人生観や価値観、大切にしていること
2 友人・知人	2 医療・療養を受けたい場所
3 行政機関の相談窓口	3 最期を迎えたい場所
4 民生委員	4 延命のための医療を受けたいか
5 ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー	5 口から十分な栄養が取れなくなった場合の処置（点滴、経鼻栄養、胃ろうなど）
6 医師、看護師などの医療関係者	6 呼吸ができにくくなった場合の処置（気管に管を入れて人工呼吸器につなげるなど）
7 上記3～6以外の専門家（弁護士、税理士、司法書士など）	7 心臓や呼吸が止まった場合の蘇生処置（心臓マッサージ、電気ショック、人工呼吸など）
8 その他【 】	8 家族の意向や希望
	9 その他【 】

問22

あなたは、ご自身の人生の最終段階で受けたい医療について、ノートなどに書き留めていますか。書き留めている場合は、誰が書き留めたかをお答えください。(○はいくつでも)

書き留めています	
1 自分	2 家族・親族
3 ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー	4 医師、看護師などの医療関係者
5 その他【 】	6 書き留めていない

介護サービス・介護予防など（1／4）

問23

あなたは、現在、介護保険制度の要介護認定（要支援認定を含む。）を受けていますか。（○は1つだけ）

1	認定を申請していない
2	認定を申請中
3	認定を申請したが、「非該当（自立）」と認定された
4	要支援1
5	要支援2
6	要介護1
7	要介護2
8	要介護3
9	要介護4
10	要介護5
11	要支援・要介護度はわからない

問24

（次のページ）へ

問23-1

あなたは、家で誰に介護されていますか。（○はいくつでも）
あてはまるもの全てに○をつけ、1～10を選んで方は、
そのうち最も介護をしている時間が長い方の番号を、□欄に記入
してください。

1	配偶者
2	子供
3	子供の配偶者
4	孫またはその配偶者
5	兄弟姉妹
6	上記1～5以外の親族
7	ホームヘルパーなどの介護職員
8	訪問看護師
9	近所の人・友人・知人
10	その他【 】

最も介護を
している時間が
長い方の番号

□

介護サービス・介護予防など（2／4）

問24

日常生活を支援するサービス（民間・公的を問わない。）について、
あなたの現在の利用状況と、今後の利用意向をお答えください。
（○はいくつでも）

※ 現在、利用していない方は、今後、体の具合が悪くなるなどで必要になった
場合に利用したいサービスに○をつけてください。

サービス名	(1)現在、 利用している	(2)今後利用したい (利用し続けたい)
① 配食サービス	1	1
② 家事援助 （掃除、洗濯、買物など）	2	2
③ 簡単な家の修繕、電球の交換、 部屋の模様替えなど	3	3
④ ギミ出し	4	4
⑤ 外出支援 （車での送迎、付添いなど）	5	5
⑥ 通院の付添い	6	6
⑦ 定期的な訪問 （安否確認、話し相手となるなど）	7	7
⑧ 救急通報システム・ 住宅火災通報システムの設置	8	8
⑨ 訪問理・美容	9	9
⑩ 身元保証制度	10	10
⑪ 葬儀の実施の契約 （あらかじめ預かった費用で、 葬儀を行う）	11	11
⑫ 残存家財の片付けの契約 （あらかじめ預かった費用で、死亡 後に残った家財の片付けを行う）	12	12
⑬ 墓の管理	13	13
⑭ その他	14	14
	15	15

現在利用している
サービスはない

今後利用したい
(利用し続けたい)
サービスはない

介護サービス・介護予防など（3／4）

問25

あなたは、現在、介護予防や健康づくりのためにどのくらいの頻度で運動していますか。（○は1つだけ）
また、1～5を選んだ方は、その継続期間を□欄に記入してください。

1	週に2回以上	継続期間 □年 □か月 → 問25-1へ
2	週に1回程度	
3	月に2回程度	
4	月に1回程度	
5	年に数回程度	
6	運動していない	問26（次のページ）へ

問25-1

あなたは、区市町村や保健所、地域の自主グループが実施している体操教室などに参加していますか。（○は1つだけ）

参加している	参加していない
□ 1	□ 2

問25-2

参加したきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

1	家族のすすめ
2	友人、仲間の誘い
3	医師、保健師などの医療従事者のすすめ
4	自治会、町内会の誘い
5	ケアマネジャーのすすめ
6	身近な地域で教室が開催されていたから
7	区市町村の広報誌やホームページなどを見て
8	自分に興味のある内容の教室が開催されていたから
9	料金が無料または安かったから
10	時間的な余裕があったから
11	適切な資格を持った指導員が指導してくれるから
12	健康・体力上の問題が解消されるから
13	その他【 】

問25-3

参加のために必要な条件は何ですか。（○はいくつでも）

1	身近な地域で教室が開催されるなど、参加しやすいこと
2	自分に興味のある内容の教室が開催されること
3	料金が無料または安いこと
4	一緒に参加する仲間がいること
5	どういう内容の教室・通いの場か、事前に丁寧でわかりやすい説明がされていること
6	参加して、介護予防の効果が感じられること
7	時間的な余裕があること
8	適切な資格を持った指導員が指導してくれること
9	その他【 】
10	こういう条件であっても、参加したいと思わない
11	わからない

介護サービス・介護予防など（4／4）

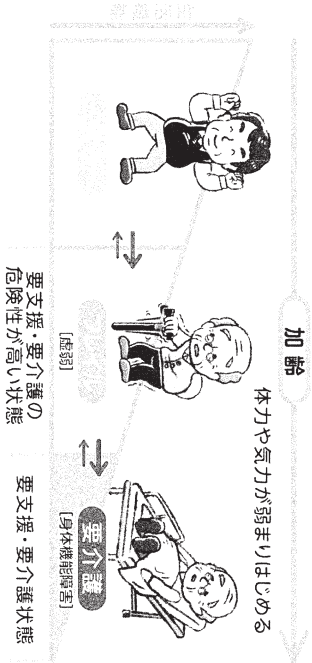
問26

あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。（○は1つだけ）

1	知っている
2	中身は知らないが、言葉は聞いたことがある
3	知らない

※フレイルとは

年齢とともに心身の活力（筋力や認知機能など）が低下して、要介護状態となるリスクが高い状態で、「健康」と「要介護」の中間をいいます。
多くの高齢者が、フレイルの段階を経て徐々に要介護状態に至るとされています。



問27

「フレイル」（心身の活力の低下）を予防するために、以下の3つが大切であることを知っていますか。（○は①から③までそれぞれ1つずつ）

予防方法	知っている	知らない
① 栄養をとる（バランスの良い食事で低栄養を防ぐ）	□ 1	□ 2
② 運動する（定期的な運動を行う）	□ 1	□ 2
③ 社会参加する（外出や趣味活動、地域交流などにより社会とのつながりを保つ）	□ 1	□ 2

認知症（1／2）

問28

「認知症」について、以下の項目であてはまるものに○をつけてください。
(○は①から③までそれぞれ1つずつ)

No	項 目	回 答	
①	認知症の原因や状態によっては、早期に対応し、適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることが可能なことを知っていますか。	1 知っている	2 知らない
②	認知症になると、何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保持されるため、本人は多くの不安や混乱を抱えることを知っていますか。	1 知っている	2 知らない
③	あなたは、認知症になった場合に備えて、希望する暮らし方や財産管理について誰かに伝えたことがありますか。	1 伝えたことがある	2 伝えたことはない

問29

あなたが認知症について気になっていること、不安に感じていることは何ですか。(○はい×つても)

1	どこに相談、受診すればよいか
2	自分を介護してくれる人がいるか
3	家族や周囲に負担がかかるか
4	医療・介護にどのくらい費用がかかるか
5	予防策や進행을遅らせる対策があるか
6	自分の性格や行動がどのように変わるか
7	日常生活（買物、家事など）を続けられるか
8	友人・知人との交流が続けられるか
9	詐欺などの犯罪に巻き込まれないか
10	その他【 】
11	特にない

不安に感じていること、
気になっている、

認知症（2／2）

問30

あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。
また、今後利用したいと思いますか。(○は①、②それぞれ1つずつ)

① 知っているか	1 知っている
	2 自身は知らないが、言葉は聞いたことがある
	3 知らない
② 今後利用したいか	1 利用したい
	2 利用したいと思わない
	3 既に利用している
	4 わからない

※ 成年後見制度とは

認知症などにより物事を判断する能力が十分でない方の権利を守るため、ご本人の意思を尊重しながら財産管理や生活に必要な契約を結ぶ援助者（成年後見人等）を選ぶことで、ご本人を法的に支援する制度です。

問31

あなたは、「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」という制度を知っていますか。また、今後利用したいと思いますか。
(○は①、②それぞれ1つずつ)

① 知っているか	1 知っている
	2 自身は知らないが、言葉は聞いたことがある
	3 知らない
② 今後利用したいか	1 利用したい
	2 利用したいと思わない
	3 既に利用している
	4 わからない

※ 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）とは

判断能力に不安がある方を対象として、福祉サービスの利用についての相談や手続の支援、日常の金銭管理の支援を行う制度です。

住まい（1／3）

問32 あなたが現在お住まいの住宅の種類を教えてください。（○は1つだけ）

1	持家（一戸建て）	問33へ
2	持家（分譲マンションなど）	
3	民間賃貸住宅（一戸建て）	
4	民間賃貸住宅（賃貸マンション・アパートなど）	
5	都・区市町村の公営賃貸住宅	
6	都市再生機構・地方住宅供給公社などの公的賃貸住宅（※1）	※1 UR・JRKなどの賃貸住宅をいいます
7	社宅などの給与住宅（※2）	
8	高齢者向け住宅（シニアビレッジ、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホームなど）	
9	その他	問33へ

問32-1

《「問32」で「3～8」を選んで方にお聞きます。》

お住まいの月々の家賃または利用料を教えてください。

※ 家賃には、共益費を含みます。

※ 利用料には、室料、共益費、生活支援サービス（安否確認、食事提供、家事援助など）の費用を含みます。

月額 万 千円

問33

現在のお住まいには、いつ頃住み始めましたか。入居した住宅が建て替えられた場合には、建替え以前の入居時期をお答えください。

明治
大正
昭和
平成
令和

年

住まい（2／3）

問34 現在のお住まいの広さは何㎡ですか。（1坪＝3.3㎡）

※ 庭やバルコニーの面積は除きます。

㎡

問35

現在のお住まいや環境で、気になっているところはありますか。（○はいくつでも）

1	住宅が古くなり傷んでいる
2	住宅が狭い
3	住居が広すぎて管理が大変
4	台所・トイレ・浴室などが使いにくい
5	廊下・階段・浴室などに手すりが無い
6	玄関・床に段差がある
7	車椅子で住宅内を移動することが難しい
8	エレベーターがなく、階段の上り下りが大変
9	耐震性に不安がある
10	周りに自然が少ない
11	病院や診療所が遠く、通院に不便である
12	スーパーやコンビニなどが遠く、買物に不便である
13	駅・バス停から遠いまたは坂道がある
14	家賃・利用料が高い
15	その他
16	特にない

問36

65歳を超えてから賃貸住宅を探した経験がありますか。（○は1つだけ）

1	探したことがある
2	探したことはない

問36-1

不動産会社等に入居を断られた経験がありますか。ある場合、何回ほど断られたことがありますか。（○は1つだけ）

1	1回
2	2～4回
3	5回以上
4	断られたことはない

問37へ

（次のページ）

住まい（3／3）

問37 あなたは、介護が必要になったときは、どこに住みたいですか。
（〇は1つだけ）

※ 現在、介護を受けている方は、今後の希望をお答えください。

1	現在の住宅に住み続けたい	
2	子供や親族の家またはその近くの一般の住宅に移りたい	
3	高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）に入居したい	
4	介護保険で入所できる施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい	
5	上記2～4以外の一般の住宅に移りたい （自然環境の良いところ、生まれ育ったところなど）	
6	その他 1	1
7	わからない	

問38

あなたが介護などの支援が必要となって、もし、自宅以外に住むことになった場合、月々どの程度であれば、費用※を支出することができますか。
（〇は1つだけ）

※ 室料のほか、生活支援サービス（安否確認、食事提供、家事援助など）、介護保険サービスなどを受けた場合を想定してください。
※ 入居時の一時金については、除いて考えてください。

1	2万5千円未満
2	2万5千～5万円未満
3	5万～7万5千円未満
4	7万5千～10万円未満
5	10～15万円未満
6	15～20万円未満
7	20～25万円未満
8	25万円以上

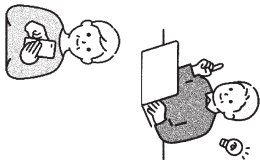
日常生活におけるデジタルの利用（1／3）

問39 （1）あなたはこの1年間、日常生活における以下の①～⑦の各活動でデジタルをどのくらい利用しましたか（※）。それぞれの項目についてお答えください。
（〇は1つだけ）

※ デジタルの利用・・・パソコン、スマートフォンなどを使いインターネットでウェブサイト（ホームページ）から情報を得ること、アプリの利用、メール、SNSの投稿や特定の相手とのやり取りなど広く含みます。

《（1）で「3 ほとんど利用しなかった」か「4 全く利用しなかった」を選んだ項目がある方にお聞きします。》

（2）その項目について、「3 ほとんど利用しなかった」か「4 全く利用しなかった」理由として最もあてはまるものをお答えください。（〇は1つだけ）



	(1) デジタルの利用状況			(2) デジタルを利用しなかった理由			
	よく利用した（週1回以上）	たまに利用した（月1～3回程度）	ほとんど利用しなかった（年数回）	全く利用しなかった	どの機器も持っていないため	スマートフォンやパソコンが難しいため	スマートフォンやパソコンが便利を感じる方が少ないため
① 買い物（ネットショッピング・キャッシュレス決済など）	1	2	3	4	1	2	3
② 仕事	1	2	3	4	1	2	3
③ 食事（レストランの予約、配達サービスなど）	1	2	3	4	1	2	3
④ 旅行（交通機関やホテルの予約など）	1	2	3	4	1	2	3
⑤ 趣味や余暇活動	1	2	3	4	1	2	3
⑥ 家族や知人等とのやりとり	1	2	3	4	1	2	3
⑦ 情報収集、調べもの、学習	1	2	3	4	1	2	3

上記（2）の1～4の選択肢以外の理由で、デジタルを利用しなかった理由があれば、右の欄に記入してください。

項目	理由

【記入例】買物でデジタルを全く利用せず、その理由がスマートフォンやパソコンを持っていない場合

① 買物（ネットショッピング・キャッシュレス決済など）	1	2	3	4
			1	2

日常生活におけるデジタルの利用（2／3）

問40

（1）あなたはこの1年間、行政サービス（※）を受ける際にデジタルをどのくらい利用しましたか。（○は1つだけ）

※ここでの行政サービスとは、自治体のホームページやアプリを活用して、必要な情報を得ることなども広く含みます。

《（1）で「3 ほとんど利用しなかった」か「4 全く利用しなかった」を選んだ項目がある方にお聞きします。》

（2）「3 ほとんど利用しなかった」か「4 全く利用しなかった」理由として最もあてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）



(1) デジタルの利用状況				(2) デジタルを利用しなかった理由				
よく利用した（週1回以上）	たまに利用した（月1〜3回）	ほとんど利用しなかった（年数回）	全く利用しなかった	スマートフォンやパソコンなどの機器を持っていないため	スマートフォンやパソコンなどの機器は持っているが、操作が難しいため	対面や電話などの方が安心や利便性を感じたため	行政サービスを受ける機会がなかったため	その他
1	2	3	4	1	2	3	4	5

問41

（23ページ）へ

問40-1

（次のページ）へ



日常生活におけるデジタルの利用（3／3）

《問40「1」で、行政サービスにおけるデジタルの利用について、「1 よく利用した」「2 たまに利用した」を選んだ方にお聞きします。》

「1 よく利用した」「2 たまに利用した」を選んだ方にお聞きします。

問40-1

（1）ホームページやアプリで情報を得るだけでなく、自治体主催のイベントへの参加申込、区役所・市役所の窓口や公共施設の各種申請・手続きなどにもデジタルを活用しましたか。（○は1つだけ）



《問40-1「1」で、「3 ほとんど活用していない」か「4 全く活用していない」を選んだ方にお聞きします。》

（2）「3 ほとんど活用していない」「4 全く活用していない」を選んだ理由として最もあてはまるものをお答えください。（○は1つだけ）

(1) デジタルの活用状況				(2) デジタルを活用しなかった理由			
よく活用した（週1回以上）	たまに活用した（月1〜3回）	ほとんど活用しなかった（年数回）	全く活用しなかった	自治体への各種申請等の操作が難しかったため	対面や電話などの方が安心や利便性を感じたため	自治体のイベント参加や、各種申請・手続きをする機会がなかったため	その他
1	2	3	4	1	2	3	4



コミュニケーション（1／2）

問4 1 あなたは、通常どれくらいの頻度で外出しますか。（〇は1つだけ）

1	ほぼ毎日
2	週4日程度
3	週2～3日程度
4	週1日程度
5	月1日程度
6	ほとんど外出しない

《「問4 2」は、現在、お子さんがいる方（「問5」で「1」（いる）を選んだ方）にお聞きます。》現在、お子さんがいない方は、問4 3へお進みください。》

問4 2 一番近くに住んでいるお子さんとの距離はどのくらいですか。（〇は1つだけ）

1	同居
2	隣
3	10分くらい
4	30分くらい
5	1時間くらい
6	2～3時間くらい
7	3時間以上

※ 時間は、通常行き来する方法（徒歩、バス、電車など）でお答えください。
※ 「隣」とは、左右両隣・前・後を指します。外階段で行き来する2世帯住宅、離れなどに住む場合及び集合住宅で隣が同じ場合も「隣」とみなします。

問4 3

あなたは、お子さん・親族・友人の方と、どれくらいの頻度で交流（話す、会う、電話、メールなど）していますか。（〇はそれぞれ1つずつ）

※ 同居・別居は問いません。

	子供や親族・友人・知人がいる					子供や親族・友人・知人はいない	
	ほとんど毎日	1週間に1回程度	2週間に1回程度	1か月に1回程度	年に数回程度		
① 子供	1	2	3	4	5	6	7
② 子供以外の親族	1	2	3	4	5	6	7
③ 友人・知人	1	2	3	4	5	6	7

コミュニケーション（2／2）

問4 4 あなたは、ご近所の方との程度お付き合いしていますか。（〇は1つだけ）

1	相談し合える人がいる
2	立ち話をする程度の人がある
3	あいさつをする程度の人がある
4	付き合いがない

問4 5

あなたは、地域の方々とのつながり（近所付き合い、交流など）について、以前と比べて、どのように感じますか。（〇は1つだけ）

1	弱くなっている
2	少し弱くなっている
3	変わらない
4	少し強くなっている
5	強くなっている
6	その他【 】

問4 6

あなたは、地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。（〇は1つだけ）

1	とてもそう思う
2	そう思う
3	ややそう思う
4	あまりそう思わない
5	全くそう思わない

生きがい

問47 あなたは現在、どの程度生きがい（喜びや楽しみ）を感じていますか。（〇は1つだけ）

1	十分感じている
2	感じている
3	多少感じている
4	あまり感じていない
5	全く感じていない

問48 あなたが生きがい（喜びや楽しみ）を感じるのとはどのようなときですか。（〇はいくつでも）

1	仕事に打ち込んでいるとき
2	勉強や教養などに身を入れているとき
3	趣味やスポーツに熱中しているとき
4	夫婦や子供、孫など家族との団らんのとき
5	友人や知人と交流しているとき
6	テレビを見たり、ラジオを聴いたりしているとき
7	ボランティアなど地域で役割をもって活動しているとき
8	若い世代と交流しているとき
9	その他【 】
10	わからない
11	生きがいを感じるときはない

孤独感

問49 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（〇は1つだけ）

1	決してない
2	ほとんどない
3	たまにある
4	時々ある
5	しばしばある・常にある

心配ごとや悩みごと（1/2）

問50 あなたには現在、心配ごとや悩みごとがありますか。（〇はいくつでも）

1	自分の健康・病気
2	配偶者や家族の健康・病気
3	家族や親族との人間関係
4	相談したり、頼れる人がいなくて、ひとりきりであること
5	地域の人たちとの関係
6	生活費や経済的なこと
7	年金・介護・医療など社会保障給付の水準
8	住宅に関すること
9	仕事に関すること
10	財産管理や相続のこと
11	詐欺などの消費者被害にあうこと
12	犯罪に巻き込まれること
13	災害（地震・火災・風水害など）にあうこと
14	将来、配偶者に先立たれた後の生活のこと
15	自分の死後の配偶者や子供の将来
16	墓の管理
17	その他【 】

18 心配ごとや悩みごとはない

問51

あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（〇はいくつでも）

1	世帯員
2	世帯員以外の親族
3	友人・知人
4	賃貸住宅の貸主や集合住宅の管理人
5	地域包括支援センター
6	上記5（地域包括支援センター）以外の行政機関の相談窓口
7	民生委員
8	ホームヘルパーなどの介護職員・ケアマネジャー
9	医師、看護師などの医療従事者
10	上記5～9以外の専門家（弁護士、税理士、司法書士など）
11	その他【 】

12 相談する人はいない

心配ごとや悩みごと（2/2）

問52 あなたは、「地域包括支援センター※」を利用したことがありますか。

（○は1つだけ）

1	利用した（電話した・行った）ことがある
2	利用したことはないが、何をしているところか知っている
3	名前だけは知っている
4	知らない

※地域包括支援センターとは

高齢者が住み慣れた地域で、健康でいきいきとした生活を送れるよう、主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などの職員が高齢者やその家族などを総合的に支援する窓口のことです。
各区市町村が設置しており、地域によっては、親しみやすい名称で呼んでいる場合もあります。

例：高齢者総合相談センター

高齢者あんしん相談センター

おとしより相談センター

あんしんすこやかセンター

熟年相談室

など

社会参加（1/3）

問53 あなたは、この1年間に以下のような活動をしましたか。
また、今後参加してみたい活動はありますか。（○はいくつでも）

活動内容		(1)この1年間に活動した	(2)今後参加してみたい(活動し続けたい)
①	趣味・学習・スポーツ活動	1	1
②	自治会、町内会、老人クラブ、NPO団体などの役員・事務局活動	2	2
③	地域行事（地域の催し物の運営、祭りの世話役など）を支援する活動	3	3
④	環境保全、環境美化、リサイクルなどの活動	4	4
⑤	地域の伝統や文化を伝える活動	5	5
⑥	防犯や災害時の救援・支援をする活動	6	6
⑦	ひとり暮らしなど見守りが必要な高齢者を支援する活動	7	7
⑧	障害のある人を支援する活動	8	8
⑨	子供の登校の見守りや学習の支援	9	9
⑩	青少年の健やかな成長・非行防止のための活動	10	10
⑪	介護が必要な高齢者を支援する活動	11	11
⑫	子育てを支援する活動	12	12
⑬	外国人を支援する活動	13	13
⑭	その他	14	14
		15	15
		活動はしていない	今後参加したい(活動し続けたい)
		活動はない	活動はない

社会参加（2／3）

《「問53-1」は、「問53（1）」（この1年間に活動した）で、1～14を一つでも選んだ方にお聞きします。「問53（1）」で、「15」（活動はしていない）を選んだ方は、「問53-3」へお進みください。》

問53-1 そのような活動を始めたきっかけはどのようなものでしたか。（○はいくつでも）

1	家族のすすめ
2	友人・仲間の誘い
3	医師、保健師などの医療従事者のすすめ
4	自治会・町内会の誘い
5	ケアマネジャーのすすめ
6	近所に自分の興味のある活動があった
7	区市町村の広報誌やホームページなどを見て
8	その他【 】

《「問53-2」は、「問53（1）」（この1年間に活動した）で、「1」（趣味・学習・スポーツ活動）を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は、「問54」（次のページ）へお進みください。》

問53-2 参加されている活動の主体はどれですか。（○は1つだけ）

1	民間のスポンサー等
2	民間のカルチャースクール等
3	区市町村が開く教室
4	自治会や地域住民が開く教室
5	老人クラブの活動
6	友人や知人を行う自主的な活動
7	その他【 】

《「問53-3」は、「問53（1）」（この1年間に活動した）で、「15」（活動はしていない）を選んだ方にお聞きします。それ以外の方は、「問54」にお進みください。》

問53-3 問53のような活動に参加しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	身近な地域に活動場所がないなど、通いにくいから
2	興味のある活動内容がないから
3	一緒に活動する仲間がいないから、ひとりで参加することに抵抗があるから
4	料金の負担がある、または料金が高いから
5	時間的な余裕がないから
6	健康・体力面に不安があるから
7	参加するきっかけがないから
8	活動の情報がいないから
9	社会参加等の活動をしたいと思わないから
10	その他【 】

社会参加（3／3）

問54

高齢者が行うボランティア活動・地域活動・NPO活動をより盛んにするためには、どのような行政の支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1	活動のための場所（公的施設など）の提供
2	活動に関する情報の提供
3	活動団体への資金的援助
4	ボランティア希望者の登録制度の充実
5	活動の中心となるリーダーの養成講座の開催
6	自主グループなどの立上げ支援へのアドバイス
7	ポイントが貯まるなど、参加したくなるような制度の構築
8	活動者のための保険制度の普及（ボランティア保険など）
9	誰でもどんなことでも相談できる場の設置
10	その他【 】

11	特に必要な支援はない
12	わからない

就労（1／2）

問5 5 あなたが今までに、一番長く従事した仕事は何ですか。（○は1つだけ）

1	自営業（家族従事者を含む。）
2	正規の職員・従業員
3	会社などの役員
4	契約・派遣・臨時・パート
5	家事専業（専業主婦・主夫）
6	仕事に就いたことはない
7	その他の就業【 】

問5 6 あなたは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。（○は1つだけ）

している	していない
1	2

→ 問5 6－3（次のページ）へ

問5 6－1

それはどのような仕事ですか。
複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いものに○をつけてください。（○は1つだけ）

1	自営業（家族従業者を含む。）
2	正規の職員・従業員
3	会社などの役員
4	契約・派遣・臨時・パート
5	シルバー人材センターの会員
6	その他【 】

問5 6－2

あなたが仕事をしている理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	収入を得たいから
2	健康に良いから
3	持っている能力を生かしたいから
4	生きがいを得たいから
5	社会の役に立ちたいから
6	社会とつながっていたいから
7	友人がほしいから
8	何もしないでいると退屈だから
9	その他【 】

問5 7（次のページ）へ

就労（2／2）

問5 6－3

《問5 6 1で「2.1（収入を伴う仕事をしていない）を選んだ方にお聞きします。》
あなたは、今後、収入を得られる仕事をしたいと思いますか。（○は1つだけ）

1	週5日仕事をしたと思う
2	週3～4日仕事をしたと思う
3	週1～2日仕事をしたと思う
4	月1～2日仕事をしたと思う
5	仕事をしたと思う
6	健康上の理由などで仕事をするのができない

問5 7へ

問5 6－4

あなたが仕事をしたいと思っているのに、現在していない
主な理由は何ですか。（○は1つだけ）

理由がある	1	希望や条件に合う働くところがないから
	2	年齢制限で働くところが見つからないから
	3	体力的に働くのはきついから
	4	家事・育児・介護に従事していて、働く時間がないから
	5	その他【 】
	6	特に理由はない

問5 7

あなたは、何歳頃まで働ける社会が理想だと思いますか。（○は1つだけ）

1	60歳頃まで
2	65歳頃まで
3	70歳頃まで
4	75歳頃まで
5	80歳頃まで
6	80歳以上で働けるまで

経済状況

問5 8

あなたの令和6年（2024年）中の収入の種類は、どのようなものですか。
（〇はいくつでも）
また、その種類のうち、主なものの番号を1つお答えください。

1	公的な年金・恩給	主なものの 番号 主なものの番号を 1つ記入 してください。
2	私的な年金（企業年金、個人年金など）	
3	仕事による収入	
4	家賃・地代・配当金	
5	仕送り	
6	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	
7	生活保護	
8	その他【 】	
9	収入はない	

問5 9

あなた個人の令和6年（2024年）中の総収入（税込み）は、
おおよそいくらでしたか。（〇は1つだけ）

1	50万円未満
2	50万円以上100万円未満
3	100万円以上150万円未満
4	150万円以上200万円未満
5	200万円以上250万円未満
6	250万円以上300万円未満
7	300万円以上500万円未満
8	500万円以上700万円未満
9	700万円以上1,000万円未満
10	1,000万円以上

問6 0

あなたの世帯の貯蓄（預貯金・信託・債権・株式・保険など）は、
おおよそいくらですか。（〇は1つだけ）

1	貯蓄はない
2	100万円未満
3	100万円以上200万円未満
4	200万円以上300万円未満
5	300万円以上400万円未満
6	400万円以上500万円未満
7	500万円以上1000万円未満
8	1,000万円以上2,000万円未満
9	2,000万円以上3,000万円未満
10	3,000万円以上

災害関係

問6 1

あなたは、災害に備えた対策をとっていますか。（〇はいくつでも）

備 蓄	1	災害時の非常持出品、備蓄品の中に、必要な医薬品、食料などを 用意している
	2	自家用車の燃料を十分に補給するようにしている
	3	いつも風呂の水をためおきしている
家 族 連 絡 等 の	4	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している
	5	災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握 している
	6	災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対して、 お願いしている
避 難	7	家族の安否確認の方法などを決めている
	8	貴重品などを、すぐ持ち出せるように準備している
	9	災害時に避難する広域避難場所を知っている
地 震 対 策	10	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている
	11	区市町村等が実施する避難訓練に参加している
	12	地震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置して いる
対 火 災 策	13	自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む。）に加入 している
	14	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している
	15	消火器や水をはったバケツを準備している
そ の 他	16	避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより 医薬品や病状等の情報を記録している
	17	（障害がある場合） 災害時に障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫 （ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンドナなど）をしている
	18	外出時には、携帯電話やスマートフォンなどの予備電池を携帯して いる
	19	その他 【 】
	20	特に対策をとっていない

行政への要望

問62

あなたが大切だと思う、高齢者に対する行政の施策や支援は何ですか。
(〇はいくつでも)

1	且中の訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護など、介護者が自宅を訪問する形態の在宅サービス
2	夜間の訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護など、介護者が自宅を訪問する形態の在宅サービス
3	デイサービス、デイケアなど、日中に通う形態の通所サービス
4	要介護者の介護や介護家族の休息のため、短期間施設に入所するショートステイ
5	特別養護老人ホームなどの施設の充実
6	認知症高齢者に対する支援
7	ひとり暮らし高齢者に対する支援
8	高齢者虐待への対策
9	介護予防・健康づくりへの支援
10	ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
11	働く場所や機会の確保・提供
12	高齢者向け住宅の充実
13	高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）
14	成年後見制度など権利擁護施策
15	高齢者をねらった犯罪の防止
16	地震、火災、風水害などに対する防災対策
17	年金や医療など国の社会保障制度
18	若い世代との交流の促進
19	その他【 】

自由意見

東京都の福祉保健行政に関して、ご意見やご要望があれば、ここでお聞かせください。

※記載内容につきましては、個人が特定できないよう加工した上で、報告書に掲載される場合があります。なお、ここで頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。目的としており、個別に対応・お答えするものではありません。あらかじめご了承ください。

※長時間にわたりご協力いただきまして、誠にありがとうございました。